

使える英語プロジェクト NEWS

(第20号)

世界に羽ばたく子どもたち

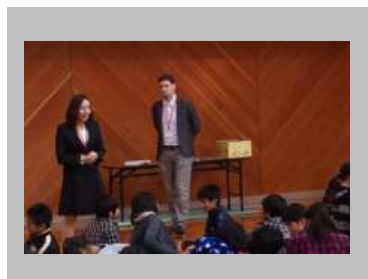
南河内郡東部地区（河南町 太子町 千早赤坂村）合同公開授業

笑顔をつなぐ、English communication

～知的好奇心の探究～



昨年12月4日（水）に、河南町・太子町・千早赤坂村による「使える英語プロジェクト事業」合同公開授業が開催されました。「使える英語プロジェクト事業」の研究成果を広める公開授業で行政の単位（市町村）の枠組みを超えて、共同で開催されたところに大きな意義がありました。

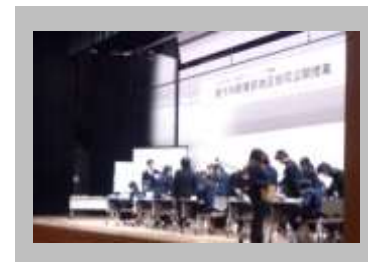


今回の合同公開授業では、町村の実践研究校が、それぞれの実践を持ち寄り、バラエティーに富んだ取組みを、町村を超えて共有できる良い機会となりました。

さらに、当日は、北は関東から南は九州まで全国各地から約250名の参加を得て、中学校の生活を小学生に英語でプレゼンテーションする授業、海外のレストランでの場面のロールプレイなど「実際に英語を活用する」授業の在り方について多くの示唆に富む授業が展開されました。



後半は、大阪府教育委員会及び大阪府教育センター指導主事が「教科書本文を活用したリーディング指導のあり方」について模擬授業を実施しました。また、大阪樟蔭女子大学の菅正隆教授から全体の総括がなされました。菅教授からは『活用の時間』を通じて、身近な体験と英語を引きつける大切さや「チームティーチングの授業における教員に係る工夫」など具体的な示唆に富んだ指導助言をいただきました。



児童・生徒がいきいきと

「使える英語プロジェクト」公開授業 における「活用の時間」展開の工夫



東大阪市立孔舎衛小学校の授業のようす

今年度の「使える英語プロジェクト」公開授業は、6月13日から始まり、昨年12月末の時点で、小学校で54回、中学校で36回行われました。

多くの授業で、本プロジェクトがポイントとしてきた「児童・生徒につけたい力」を明確にして単元計画・指導計画を作り、児童・生徒が学んだ表現を活用するための「場面」や「相手」を設定して授業を行うなどの工夫

がなされています。

小学校では、社会科の時間に児童が興味をもった国についてインターネットで調べ、その内容を外国語活動の時間に英語で発表する・聞く活動を行う実践例がありました。他の教科の学習とリンクさせ、児童が自ら主体的に調べた内容について発表することで、発表者は自信を持って発表することができ、聞き手は相手の話す内容を興味を持って聞くなど、コミュニケーションの素地を育成する授業が行われました。



柏原市立堅上中学校の授業のようす

また、中学校では、日本の歴史的な文化、風習や歴史上の人物などトピックを選び、その内容について英語でプレゼンテーションを行う実践例がありました。話し手からの一方通行にならないよう、途中で話し手から聞き手に簡単な質問を入れながら説明をし、最後にはALTの先生から質問を受けて、即興で答える活動を入れた授業を行うなど、「義務教育修了段階で自分の考えや意見を英語で正確に伝えることができる」という「使える英語プロジェクト」事業の目標に根ざした授業が行われました。

このような授業が数多く行われていることに感謝するとともに、引き続き、児童・生徒がいきいきと英語を使う授業を展開していただきますようお願いします。

今後の公開授業

- 2月24日(月) 枚方市立樟葉西中学校
- 2月25日(火) 富田林市立小金台小学校
- 2月26日(水) 枚方市立船橋小学校
- 3月 4日(火) 交野市立星田小学校

下記「使える英語プロジェクトポータルサイト」に公開授業の情報が記載されています

<http://www.pref.osaka.jp/shochugakko/erueigo/index.html>

第2回 「使える英語プロジェクト」フォーラム を開催します

3月13日(木)に東大阪市市民会館市民ホールで、第2回「使える英語プロジェクト」フォーラムを開催します。「使える英語プロジェクト事業」の成果を共有することで、3年間の総括を行います。

フォーラムでは、茨木市立太田中学校区の実践発表の後、その実践から見られた成果について、関西大学大学院 外国語学部長・教授 竹内 理 氏に指導助言と講演をしていただきます。

たくさんの先生方の参加をお待ちしております。

近畿大学英語村を開催します



近畿大学英語村を3月29日(金)(児童対象)、3月31日(月)(教員対象)に開催いたします。

児童にとっては、授業を通して身につけたコミュニケーションの素地を活かして、ネイティブスピーカーと実際に英語でコミュニケーションをとる機会になります。

また、先生方には、参加者が持ち寄った活動例についてグループディスカッションを行った後、全体に報告・提案することを通して、授業で行っている子供たちがコミュニケーションの楽しさを実感できる活動等について情報交換を行っていただく予定です。

編集後記

授業を受ける立場になって、「あると安心して学習できるもの」は何でしょうか。最近黒板に「今日のめあて」など、その時間に何を行えばよいのかや、今授業のどの段階を行っているのかを示す等の取組みの他、「絵カード」「ICT機器の活用」など、さまざまな工夫が見受けられます。

自分自身を振り返り、中学校で英語の授業を受けていたときを思い出すと、分からないことがあったり、自信のないときには、発言しづらく声が小さくなっていたように思います。子どもたちが安心して授業に参加できる工夫について、先生方の知識・知恵を共有すれば、「授業が好き」「英語が好き」な子どもたちの育成に、一層つながるのではないかと思います。